

日本伝統の柄を現代建築へ取り入れた光幕天井システム

天井全面に和紙を表現する『アートシェード和（なごみ）』新発売

本ページに掲載されている情報は発表当時のものであり、最新のものと価格・仕様が異なる、もしくは販売が終了している可能性があります。

最新情報をご確認ください。

[最新情報を見る](#)



日本伝統の柄を現代建築へ取り入れた光幕天井システム『アートシェード和（なごみ）』を新発売いたします。

不燃性をクリアした和紙のような天井材『アートシェード和（なごみ）』を新発売

日本伝統の柄を現代建築へ取り入れた光幕天井システム『アートシェード和（なごみ）』を新発売します。

天井面は不燃性能を要求されるため、本物の和紙を使用することは難しい。『アートシェード和（なごみ）』は、透過性・不燃性に優れたガラスクロスで和紙柄を再現することにより、和紙ではできなかった天井全面への施工を可能にしました。

百貨店、美術館などにさまざまな実績のある光幕天井システム『アートシェード』シリーズに、和紙の「雲竜柄」を再現し落ち着いた雰囲気演出する『アートシェード和（なごみ）』を追加ラインアップしました。

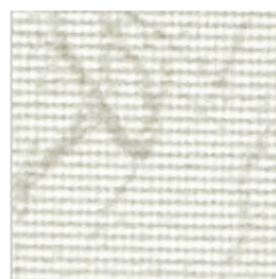
なぜいま「和紙柄」なのか

効率化された現代社会では、何かとストレスを感じる事が多くなりました。それに比例するかのよう
に、和食ブームや日本古来の伝統家具、和をモチーフとした建築など、都市空間において「和のテイスト」が注目を浴びています。「スローライフ」というキーワードをよく耳にしますが、我々日本人が忘れかけていた伝統的な「和」に回帰することでストレスを和らげようという流れなのだそうです。

設計者の方からも「和紙柄の建築照明システムがほしい」という数多くの要望が寄せられておりました。『アートシェード和（なごみ）』は襖や壁に古くから内装材として使われてきた和紙柄を、ガラスクロス製の光幕天井システムに取り込み、天井全体に和紙を表現します。

和紙「雲竜柄」の風合いを再現

和紙柄の風合いは、楮（こうぞ）などの繊維が複雑に重なり合った「目」が魅力です。その長い繊維を手でちぎり、雲のような模様をつけた柄が「雲竜柄」と呼ばれる落ち着きのある模様です。
この柄を再現する際、通常使われるインクを使用しガラスクロスに和紙を再現しようとしたのですが、和紙の繊維がうまく表現されませんでした。独自の特殊技術により、どこかなつかしい和紙の繊維感を見事に天井全面に再現できます。



平成10年の発売以降、大変ご好評を得ている『アートシェード』は、四角に組んだアルミフレームにガラスクロスをキャンバス状にはった光幕天井システムです。百貨店をはじめ、美術館や商業施設などに数多くの実績があります。

透過性に優れた不燃性ガラスクロスが蛍光灯の眩しさを抑え、均一で柔らかな光が部屋全体を明るくします。そのため「商品」や「人の表情」が見やすく、視環境が非常によくなり開放感を感じさせます。その不燃性ガラスクロスに「曇竜柄」を施したものが『アートシェード和（なごみ）』です。不燃性・透過性に優れたガラスクロスを使用することにより、和紙ではできなかった天井全面への施工を可能にしました。和紙繊維のランダムな柄は、見る人に落ち着きと心地よさを与えます。

おもな施工場所

和食レストラン・伝統建築物・美術館・ストレス軽減スペースなどに最適です。

参考材工設計価格（税別）

Vバネアタッチメント方式 135,000円/平米（100平米基準）
ダブルアクシス方式 148,000円/平米（100平米基準）

基布：ガラスクロス

柄：和紙柄

色：白色

標準サイズ 1,285mm×1,285 mm（最大サイズ 1,800mm×1,800mm）

国土交通大臣不燃認定番号：NM-1683



Vバネアタッチメント方式

[お問い合わせ・カタログ請求はこちら](#)

2007.08.03掲載

- 掲載されております商品の表示価格は税抜き価格です。
- 掲載されている情報は発表当時のものであり、最新のものと価格、品番、販売終了など情報が異なる可能性があります。ご了承ください。

[2007年度一覧へ戻る](#)